

# 「サステナブルな暮らし体験」



## 海山田畠に囲まれたりノベ古民家で



米子市淀江町の東端にある「淀江古民家」は、築約90年の古民家を多くの人の手でリノベして、2021年3月に営業をスタートしたゲストハウスです。海山田畠に囲まれたサステナブルな暮らし感ができる「みんなの実家」として、今なおリノベを続けながら、運営中です。宿泊の他カフェスペースや裏庭のレンタル、e-bikeレンタル、自家菜園での農業体験などもやっております。今後、日替わり店長カフェ、英会話力フェスや料理教室、大豆・米・野菜などを使った食材づくり体験、ミニセミナーなども行っていきます。お気軽に立ち寄りください。

リノベ・リノベーション (renovation) ··· 既存の建築物に工事を加え、既存のものよりも価値を高めること  
サステナブル (sustainable) ··· 持続可能な、ずっと続けていくこと

2023.03  
創刊号  
毎月 20 日発行



# 淀江の宿 今津田中家 瓦版

よどえのやど

い  
ま  
づ  
た  
な  
か  
や

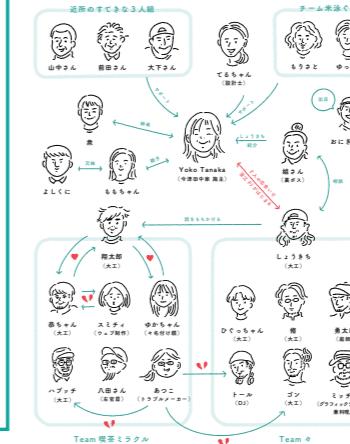
2023.03  
創刊号  
毎月 20 日発行

Imazu-tanakaya kawaraban



作者紹介  
Yoko Tanaka

次回予告【第1話のあらすじ】  
「淀江プロジェクト」第一話・この物語の中心人物洋子の父が亡くなり、実家が空き家となる。結婚する前の父のラブレターを発見し、なぜか妹の振る返り返る姉弟。これだから発生する相続問題、空き家問題、始める兆しが動き始めます。当もつかる相続中で、淀江プロジェクトを始めたばかりから始まります。「淀江の宿今津田中家」の軌跡を連載でご覧ください。



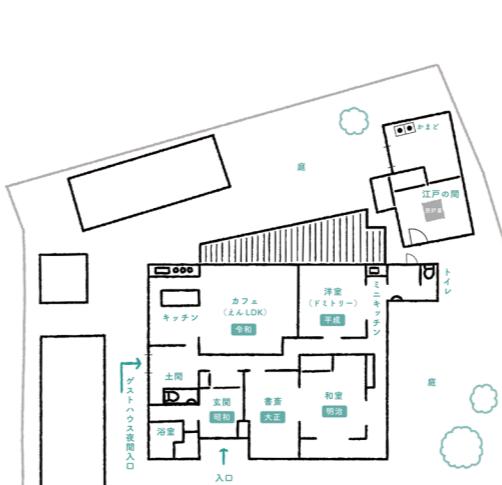
鳥取県米子市淀江町今津。建つから90年近く経つ田中家。この家を相続することになった長女洋子。洋子は大阪と鳥取を行き来しながら、実家の改装を決意する。先ず離れをゲストハウスに改修工事を考めたものの、洋子は母屋の使い道を考えあげていた。

連載

「淀江プロジェクト」物語

特集 今津田中家探検

2018年冬、(大阪の「姐さん」とハラクミコの紹介で)「ネオ大工野崎将太に出会い、ここから洋子の運命の歯車は大きく狂っていく。入れ替わり訪れる謎の若者たち。そこから何年もかかる工事。洋子の鳥取への帰郷(移住?)。人々の交流を妨げる謎の伝染病。完工はまだないのか。役割を終えたはずの古民家を巡る大活劇。



淀江の宿今津田中家は、和室&書斎(貸切・最大定員8名)、洋室(貸切・最大定員6名)の2つの宿泊スペースがあります。和室は昭和初期の建築時そのままの形が残されており、書斎は大正浪漫をイメージしてリノベーションしています。洋室は「淀江プロジェクト」で参画メンバーたちが、2020年12月～2021年2月にかけて、工夫し、とてもユニークな形に併設のカフェスペース・庭・囲炉裏や竈のある「江戸の間」などもご利用ください。海山田畠に囲まれ、民家が続く集落の中にある築約90年の古民家で、田舎暮らしをお楽しみください。



淀江の宿  
今津田中家  
=IMAZU-TANAKA-YA=



ホームページ



お問い合わせ



お問い合わせ

淀江の宿 今津田中家  
〒689-3401 鳥取県米子市淀江町今津 50-1  
TEL: 0859-30-3889  
www.imazutanakaya.com



